

「自分らしく」を支える心の通うリハビリテーションを提供する。介護の場であるだけでなく、利用者にとって社会とのつながりを再構築し、自分らしさを取り戻す大切な場所として「地域拠点型のデイサービス」を20年以上にわたって追求してきた。

「職員の心身の健康こそ質の高いケアの基盤となる」と話す三宅茂社長は、70歳を過ぎて事業継承も考える時期になり、御所市商工会の働きかけで健康経営への取り組みを決意した。

これからの企業経営は利用者はもちろん、職員とその家族を含め、関わる全ての人が



三宅茂社長

幸せに過ごせる環境を整えるべきだと痛感し、202

デイサービスときの森

5年度、26年度と2年連続で健康経営優良法人の認定を受けた。「心理的安全性とコミュニケーションの質を高める環境整備に注力した」と三宅社長は話す。

職員がオン・オフの切り替えができるよう、職員専用のプライベート空間を確保したり、プライベートな相談もできる「個別ミーティング」を

皆が幸せな環境を

行ったりしたほか、情報共有の円滑化も進めた。結果として、精神的ストレスの軽減、労働時間の適正化に効果が表れているという。

楽しい職場、働きやすい環境づくりに取り組んできた同社は、3年連続で新規採用を実現し、今年はミャンマーからも新たな人材を受け入れた。

「デイサービスの使命は高齢者の生活の質を高め、心地よく前向きに生きていただけ

る場の提供」と三宅社長。その実現には、現場を支える職員が健全であり、職場にやりがいを感じていなければならぬと考える。

経営者が未来を見据え、笑顔で職員に接する。そのポジティブなエネルギーが職員を通じて利用者へ、そして家族へと波及していく。三宅社長は「この『三方よし』の好循環

をつくるのが経営の本質で、健康経営はそのために不可欠な指針」と話す。

「三方よし」持続のため、「誰もが反対しない改革」を推進する同社。AIの導入など、テクノロジーと設備を刷新し、職員の負担軽減と価値向上を目指していくという。

「職員が5年、10年後も自信を持って笑顔で働き続けられる、地域になくってはならないデイサービスを追求したい」と三宅社長は意気込む。(毎月第4木曜日掲載)



施設利用者との初詣ツアー

会社概要

- 所在地/御所市84番地
- 電話/0745 (64) 2151
- 創業/1966年1月
- 事業内容/通所介護・介護予防